

市民総参加オール大村!

我が国の景気は、雇用や所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いていますが、本市では十分に実感できていない状況にあります。

また、地方においては、子育て支援の充実、地域社会のにぎわい創出や安全・安心なまちづくりを進める中で、更に魅力ある地方都市の実現に向けた新たな取り組みが求められています。このため本市では、長期的な展望に立ち、「第5次大村市総合計画」を策定しました。

平成29年度は、計画の方向性に沿って、一歩を踏み出します。



2月28日に開かれた市議会定例会で、園田市長は、平成29年度の市政運営の基本姿勢を示す『施政方針説明』を発表しました。

■企画政策課（内線244）



01 人を育むまち

- 不妊治療に取り組む人を全力で応援するため、県内で初めて特定不妊治療に要する初回の治療費用を全額助成
- 子育て家庭への支援を充実させるため、病氣中や回復期にある子どもを預けることができる「病児保育」の対象を、小学校6年生まで引き上げ
- 学校や家庭で多様な教材を簡単に手にすることができる「オンライン学習コンテンツ」の導入を行い、基礎学力の向上につなげる

02 健康でいきいきと暮らせるまち

- 市制施行75周年を記念し、8月にNHKの夏期巡回ラジオ体操を、陸上競技場で開催
- 高齢者の社会参加を促進するため、元氣な高齢者が子育てや介護を支援する「シルバーお助けサポート事業」を実施
- 患者数が増加している前立腺がんを早期に見出し治療につなげるため、50歳以上の男性を対象に、検診に係る費用を助成

03 安全・安心なまち

- 災害発生時の防災拠点として重要な新市庁舎の早期建設に向け、基本計画を策定
- 防災ラジオを活用し、防災情報に加え、行政情報など市民の生活に役立つ情報を積極的に発信
- 住宅地域や小学校周辺などの交通の安全を確保するため、時速30キロメートルの速度規制を行う「ゾーン30」について、中央小学校周辺を整備

04 活力に満ちた産業のまち

- 中小企業や個人事業主、農林水産業の事業者が抱える経営上の課題解決や売上向上のほか、創業を目指す方の支援を行うため、大村市産業支援センター「Orbitz」を開設
- 観光客の増加と地域経済の活性化を図るため、市内および隣接する市町の観光資源を活用した着地型観光推進事業を、大村市観光コンベンション協会と連携し積極的に展開
- 研修費助成や営農に必要な経費の一部助成など、就農開始から農業所得向上まで、それぞれの段階に応じて支援

05 機能的で環境と調和したまち

- 国道34号（大村～諫早間）の4車線化については、今後も、「国道34号大村～諫早間整備促進期成会」や県などとともに、国や地元選出国会議員への要望活動を行う
- 九州新幹線西九州ルートの開業に向けて、新大村駅（仮称）の駅前広場や公園の設計に着手し、多くの皆さんに大村市へ訪れていただくよう、市民と一体となった行動計画を策定
- 長崎県立・大村市立二体型図書館および大村市歴史資料館（仮称）の整備を進めるとともに、運営管理を行うための「図書館情報システム」の構築に着手

06 持続可能な行財政運営と市民協働の推進

- 社会保険料の増加、老朽化した施設の更新や、大型建設事業に係る公債費の増加など、さまざまな課題に対応していくため、効率的・効果的な行財政改革に、新たに取り組む
- 補助金については、「大村市補助金等のあり方に関するガイドライン」に基づき、公益性や効果の検証を行い、見直しを図る
- 大村を盛り上げる皆さんの多様な活動を応援する「市民いきいき助成金」を新設

～行きたい、働きたい、住み続けたい～しあわせ実感都市 大村

施政方針

2017
omura city

施政方針

上下水道事業

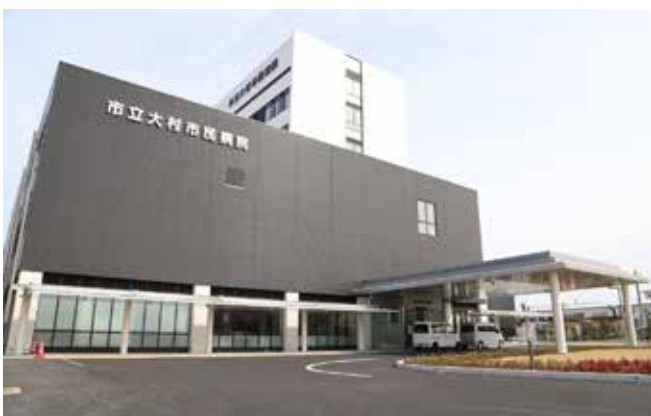
- 水の安定供給を図るため、簡易水道事業と上下水道事業を統合
- 汚水の高度処理のための施設整備に着手し、大村湾の更なる水質改善を図る
- 菅瀬ダムから坂口浄水場までの送水で生じる水力を利用した小水力発電を導入

モーターボート競走事業

- プレミアムGレース「クイーンズクライマックス」を開催
- 平成30年9月のナイターレース導入を目指し、年内に工事着手
- 新たなファン層の拡大を図るため、引き続き、若者や家族向けイベントの開催や映画の上映などを実施

病院事業

- 市立大村市民病院は、本年2月に建替工事が完了し、4月に開院
- 「市民の生命と健康を守り、地域に根ざし、市民に信頼される病院」を目指し、最新の医療機器を整備した「二次救急医療機関」として、市民に安全で安心な医療の提供を行う



市民総参加 オール大村!

主な新規事業および 拡充を行う事業

国際交流の推進

ポルトガル共和国シントラ市との姉妹都市提携20周年を記念し、市民を募った訪問団を派遣するなど、さらに交流を深める

デジタルアートによる 観光客誘致

大村公園において、最先端の技術と芸術を活用した最新のデジタルアートが作り出す世界を描き出し、市内外からの誘客を促進

大村 都市実感あわせ 新規事業



施政方針の全文
はこちらからご覧
いただけます。

■企画政策課（内線244）

ラボ！ラボ！コラボ!! リサイクル大作戦

使用済みの紙を原料として、水を使わずに新たに紙を生産する世界初のオフィス製紙機を九州で初めて導入し、リサイクルする仕組みを構築。この技術を活用し、本市の情報満載のオリジナル名刺用紙を作成・配布するなど、官民連携してシティブロモーションを推進

地域連携ポイント 構築事業

消費や市民活動にポイントを付与するなど、官民が連携した地域活性化の新たな取り組みを検討するため、地域ポイントの調査・研究を行う

オークションを活用した 子育て応援事業

市民みんなで子育てを応援するため、ヤフー株式会社と連携し、子育て用品を市民間で譲り合う仕組みを構築



野良猫対策事業

繁殖を抑制し、殺処分数を減少させるため、野良猫に対して行う不妊・去勢手術の費用を、県内で初めて全額助成

ごみステーション化 推進事業

収集の効率化や景観の保全、交通の安全性向上のため、折りたたみ式ボックスの無償貸与を行い、衛生的で機能的なごみステーション化を推進

乗合タクシー等 導入事業

交通空白地域における新たな移動手段を検討するため、松原・福重地区において乗合タクシーを、荒平・水計地区においてはデマンドタクシーの実証運行を開始

若年層就業支援事業

中小企業の人材確保や人材育成を支援するため、産学官が連携して、高校生および保護者を対象とした企業紹介や、新社会人を対象に異業種交流研修を行う

～ 行きたい、働きたい、住み続けたい～

施政方針

2017
omura city

新たな主

中学校給食の導入

栄養バランスの取れた安全・安心な食事を提供し、食育を推進するため、本年1月に給食を開始した菅瀬中学校に続き、玖島中学校で開始
また、平成30年度の全校実施を目指し、中学校給食センターの建設工事に着手

大村湾流域自治体 との連携

日本財団の助成を受け、大村湾流域5市5町で連携し、各市町の特徴を活かしたイベントなどの「海フエタ大村湾」に取り組み、一体的な活性化を図る

これからも、長崎県をけん引するトップランナーとして、「行きたい、働きたい、住み続けたいしあわせ実感都市 大村」の実現に向け、「市民総参加オール大村！」で取り組みます。

